

名古屋市議会 2月定例会が閉会 (3月19日)

議長の辞任で議長・副議長選挙

わしの恵子・田口一登候補が所信表明

議長選挙の結果

○中川貴元(自) 67票
わしの恵子(共) 6票
無効 1票

副議長選挙の結果

○田山宏之(減) 35票
田口一登(共) 5票
無効 34票

(*ひとり欠席)

名古屋市議会 2月定例会は19日に予算や意見書などを議決したのち、議長の辞任による議長選を行いました。

不信任された中村議長が辞任

中村議長は、16日の本会議で全会一致で議長不信任決議が議決されたのちも「やめない」といっていましたが、19日、市民に迷惑をかける、と辞意を表明。

減税・自・公・民が共同候補

議長の辞意を受け、議会は、午後1時過ぎに開会し、

4時過ぎに予算の議決を終了。

その後休憩にはいり、自公民と減税の間で議長選について調整が行われ、ようやく午後8時に再開。議員総会で、議長、副議長候補4名の所信表明が行われたのち、本会議で議長選挙が行われました。

日本共産党は議長候補にわしの恵子議員、副議長候補に田口一登議員が立ち、議会の民主的の改革に挑む決意を述べました。結果は表のとおり。

議長選挙にあたっての所信表明 わしの恵子



辞任表明をされた中村前議長は、「『議長は1年交代』という慣例を変えることが議会改革の第1歩だ」と主張してきましたが、日本共産党市議団はこれまでも悪しき慣習はなくすべきと求めてきました。

議長が議会改革の先頭に立っていれば、「議長は1年交代」に、こだわるものではありません。

昨年の出直し市議選によって発足した新しい議会は、市民からの議会新生の願いに応えることが求められていました。新しい市議会のスタートとなる議長・副議長の選出にあたって、議会基本条例の精神にのっとり、市民に分かりやすいオープンなやり方に改められ、本会議場にて、議長・副議長選挙にあたっての所信表明が行われました。まさに、議会改革を1歩進めるものだったと考えます。

私は、今回の議長立候補にあたり、議員としての議会活動が十分保障された議会運営を、かつ民主的で公平・公正な議会運営を目指します。

第1に、市民に開かれた分かりやすい市議会にするため、定例会ごとに市民の声を聞く議会報告会を設け、情報公開と市民参加の促進、市民の多様な意見を把握するなど議会制民主主義の発展に努めます。

議員平等の原則を踏まえ、本会議質問については会派別持ち時間制を廃止します。休日・夜間議会の開催を検討します。議会広報「市会だより」は紙面が充実してまいりましたが、発行回数など、さらなる充実を図ります。「議会基本条例」を活かし、さらなる改革を進める決意です。

第2に、議員は市民の痛みに応えるべきであり、議員報酬半減を継続し、慣例的な海外視察は廃止します。企業団体献金は自粛すべきと考えます。

以上の議会改革と議員の在り方についての提案をさせていただきます、所信表明といたします。議場の皆さん。よろしくお願ひします。

副議長選挙にあたっての所信表明 田口一登



私は、議長を補佐して公正公平な議会運営に努めつつ、「日本一市民に開かれた議会」「市民のために働く議会」をめざし、名古屋市議会基本条例にもとづく本市会の改革をさらに前進させてまいります。私が、議会改革推進会議などで皆様と協議しながら取り組みたいと考えている改革は、次の3点です。

第一は、市民参加の促進と情報公開を徹底することです。この間、開くことができなかった議会報告会は、定例会後には必ず開催するとともに、必要に応じて市民公聴会を開催するなど、市民意見の反映に努めます。委員会室の傍聴席は7席にこだわらず、多数の傍聴者が見込まれる場合には、傍聴席を増やします。「市会だより」は紙面が充実してまいりましたが、発行回数の例月化とともに、さらなる内容の充実を図ります。

第二は、民主的な議会運営に努めることです。議会基本条例に明記された「議員平等の原則」にのっとり、本会議質問における会派別持ち時間制は廃止し、発言時間は平等にします。休日・夜間議会の開催を検討します。

第三は、議会経費について適正化と透明化を図ることです。任期中に1回の海外視察は中止します。議員が市政の重要課題の調査のために、海外に視察調査に出かける必要が生じる場合もあるでしょうが、その際には、政務調査費があるわけですから、それを視察旅費に充てればよいわけで、すべての議員が任期中に1回は海外に出かけることができるという慣例的な仕組みはやめるべきであります。

最後に、私は、1年で交代することを前提とせず、改選までの3年間の任期をまっとうしたいという思いで立候補させていただきました。もちろん、副議長としての進退が問われるような重大な事態を招いた場合には、任期中中でも、いさぎよく身を引く覚悟でございます。

以上で、私の所信表明の一端を述べさせていただきます。ありがとうございました。